



岡山県うらっち

# 風しんにかからない、うつさない

## 1. 風しんってどんな病気？

風しんは、風しんウイルスにより感染し、2～3週間の潜伏期間後、発しん、発熱、リンパ節のはれなどの症状があらわれます。症状は軽いものがほとんどですが、はっきりした症状がないため、気づかず周りの方へ感染を広げてしまいます。

妊婦さんが妊娠初期（20週頃まで）に感染すると、生まれてくる赤ちゃんの目や耳、心臓などに障害が生じる可能性があります。（**先天性風しん症候群**）

## 2. 平成24年～25年の風しん流行は？

海外の流行地域から風しんウイルスが国内に流入したことが流行のきっかけになったと考えられています。定期の予防接種（※1）を受ける機会がなかった20代から40代の男性等を中心に、職場での感染事例が多く見られました。また、国内では、先天性風しん症候群が増加し、社会的に問題となりました。

## 3. 抗体価（風しんに対する抵抗力があるかどうかを表す値）の状況は？

8割～9割の方は既に抗体があります。【2ページ目グラフ参照】

岡山県、岡山市、倉敷市では、主として先天性風しん症候群の予防のため、全県下の約650箇所の医療機関で、風しんの無料抗体検査を実施しています。（平成26年度）

まずは、自分の抗体価を知ることが大切です。

### 無料抗体検査対象者

検査日において岡山県内に住所を有する方で、次のいずれかに該当する方。

- (1) 妊娠を希望する女性
- (2) (1)の配偶者などの同居者（1歳未満の者を除く）
- (3) 風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者などの同居者（1歳未満の者を除く）

※ただし、過去に風しん抗体検査を受けたことがある方、明らかに風しんの予防接種歴がある方、検査で確定診断を受けた風しんの既往歴がある方のいずれかに該当する方を除きます。

抗体検査の実施医療機関や検査時に持参するものなど、詳細は下記ホームページをご覧ください。

岡山市、倉敷市以外に住所がある方 [岡山県HP](http://www.pref.okayama.jp/page/380502.html) <http://www.pref.okayama.jp/page/380502.html>

岡山市に住所がある方 [岡山市HP](http://www.city.okayama.jp/hofuku/hoken/hoken_00290.html) [http://www.city.okayama.jp/hofuku/hoken/hoken\\_00290.html](http://www.city.okayama.jp/hofuku/hoken/hoken_00290.html)

倉敷市に住所がある方 [倉敷市HP](http://www.city.kurashiki.okayama.jp/item/69905.htm) <http://www.city.kurashiki.okayama.jp/item/69905.htm>

※国の要件に従い、抗体価を既に知っている方、接種歴や既往歴があり抗体を持っていると考えられる方を対象外としていますが、ワクチン1回接種による抗体獲得率は95%とされています。平成25年の流行時に、1回接種した方の感染が4～9%あったこと【4ページ目グラフ参照】、ワクチン接種による抗体価は減少していくとの報告もあります。抗体検査助成対象外でも、抗体検査やワクチン接種の必要性が無いとは言いきれませんので、妊娠を希望する方などで心配な方は抗体検査（有料）等を検討してください。

（抗体検査料金：5,000円～6,000円程度、予防接種料金：10,000円程度：目安ですので正確な料金については医療機関へ確認してください。）





## 4. 風しんの予防対策は？

風しんの最も有効な予防方法は予防接種を受けることです。定期の予防接種(※1)は忘れずを受けてください。また、抗体価が十分でない方は、任意での予防接種(※2)を受けることを検討してください。

予防接種は、当日の体調や持病、その時使用している薬剤などによっては、接種を受けられない場合もあります。また、接種後の副反応として、発熱や発しん等がみられることがあります。風しんワクチンは生ワクチンであり、妊婦に接種することはできず、接種前約1ヶ月、接種後約2ヶ月の避妊が必要です。

### 先天性風しん症候群の子供さんを持つお母さんのコメント

風しんウイルスは1人では防ぐことができません。予防方法はワクチン接種のみです。いつ、どこで、誰が、風しんの感染源になるかわかりません。

全ての方がワクチンを接種することで妊婦の方、未来ある小さな命が救われます。社会全体で風しんから妊婦の方、赤ちゃんを守って下さいますようお願い致します。

[おかやま医療情報ネット](http://www.qq.pref.okayama.jp/mi/search/Vaccination.do)から、予防接種を実施している医療機関を検索することができます。

<http://www.qq.pref.okayama.jp/mi/search/Vaccination.do>

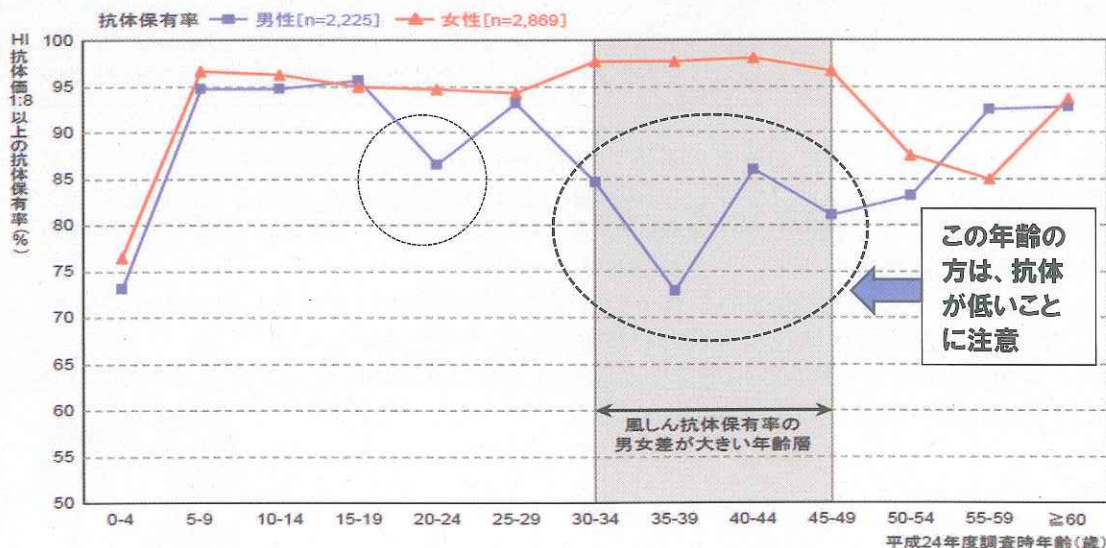
予防接種のご予約等については、各医療機関にお問い合わせください。

予防接種を受けることができない抗体を持たない又は低い抗体価の妊婦さんは、可能な限り人混みを避け、不要不急の外出を控えるようにしてください。また、妊婦さんの周りにいる方(夫、子ども、同居家族等)は、風しんを発症しないよう予防に努めてください。

## 参考

○年齢群別の抗体価の状況 (国立感染症研究所作成「職場における風しんガイドライン」抜粋)

平成24年度感染症流行予測調査





※1 定期の予防接種：予防接種法に基づき市町村が実施しています。  
(お住まいの市町村へお問い合わせください。)

第1期：生後12ヶ月以上24ヶ月未満  
第2期：5才以上7才未満で小学校就学前1年間

※2 任意の予防接種：「岡山県風しん対策指針」で推奨する任意の予防接種対象者

・妊娠を希望する女性及び抗体を保有しない妊婦の家族等のうち、罹患歴又は予防接種歴が明らかでない方

〔妊娠を希望する女性は、将来、妊娠中に風しんに罹患する可能性があります。また、妊婦さんが抗体を保有しない場合は、妊婦さんと接する機会が多いその家族等が風しんを発症すると、妊婦さんの感染等の問題を引き起こす可能性があります。〕

・昭和37年4月から平成元年3月生まれの男性及び昭和54年4月から平成元年3月生まれの女性のうち、罹患歴又は予防接種歴が明らかでない方

〔幼少期に自然感染せず、予防接種を受ける機会がなかったり、接種を受けていない方の割合が他の年齢層に比べて高いことから、風しんの患者さんと接することで感染する可能性があります。〕

・医療・福祉や教育・保育などの職業の方のうち、罹患歴又は予防接種歴が明らかでない方

〔重症化しやすい幼児、児童、体力の弱い方等や妊婦さんと接する機会が多いことから、自らが感染源になり、集団感染や妊婦さんへの感染等の問題を引き起こす可能性があります。〕

・海外に渡航する方で、罹患歴又は予防接種歴が明らかでない方

〔海外の風しん流行地域で罹患者と接する機会があり、自らが感染源となり風しんウイルスを流入させる可能性があります。〕

対象・要件・助成金額等はまちまちですが、任意の予防接種に対して助成を行っている市町村もありますので、お住まいの市町村予防接種担当課へお問い合わせください。

市町村予防接種担当課一覧

市町村名	担当課名	電話番号
○岡山市	保健所保健課	086-803-1262
○倉敷市	保健所保健課	086-434-9810
津山市	健康増進課	0868-32-2069
○玉野市	健康増進課	0863-31-3310
笠岡市	子育て支援課	0865-69-2132
井原市	健康医療課	0866-62-8224
○総社市	こども課	0866-92-8261
高梁市	健康づくり課	0866-21-0267
○新見市	健康づくり課	0867-72-6129
○備前市	保健課	0869-64-1820
瀬戸内市	健康づくり推進課	0869-26-5962
赤磐市	健康増進課	086-955-1117
真庭市	健康推進課	0867-42-1050
美作市	健康づくり推進課	0868-75-3911
浅口市	健康推進課	0865-44-7114

市町村名	担当課名	電話番号
○和気町	健康福祉課	0869-93-0531
○早島町	福祉課	086-482-2483
里庄町	健康福祉課	0865-64-7211
○矢掛町	保健福祉課	0866-82-1013
○新庄村	住民福祉課	0867-56-2646
鏡野町	保健福祉課	0868-54-2025
○勝央町	健康福祉部	0868-38-7102
○奈義町	健康福祉課	0868-36-6700
西粟倉村	保健福祉課	0868-79-7100
○久米南町	保健福祉課	0867-28-2047
○美咲町	健康増進課	0868-66-1195
吉備中央町	保健課	0866-54-1326

○：H26.6.1現在、助成を行っていることが確認できている市町村

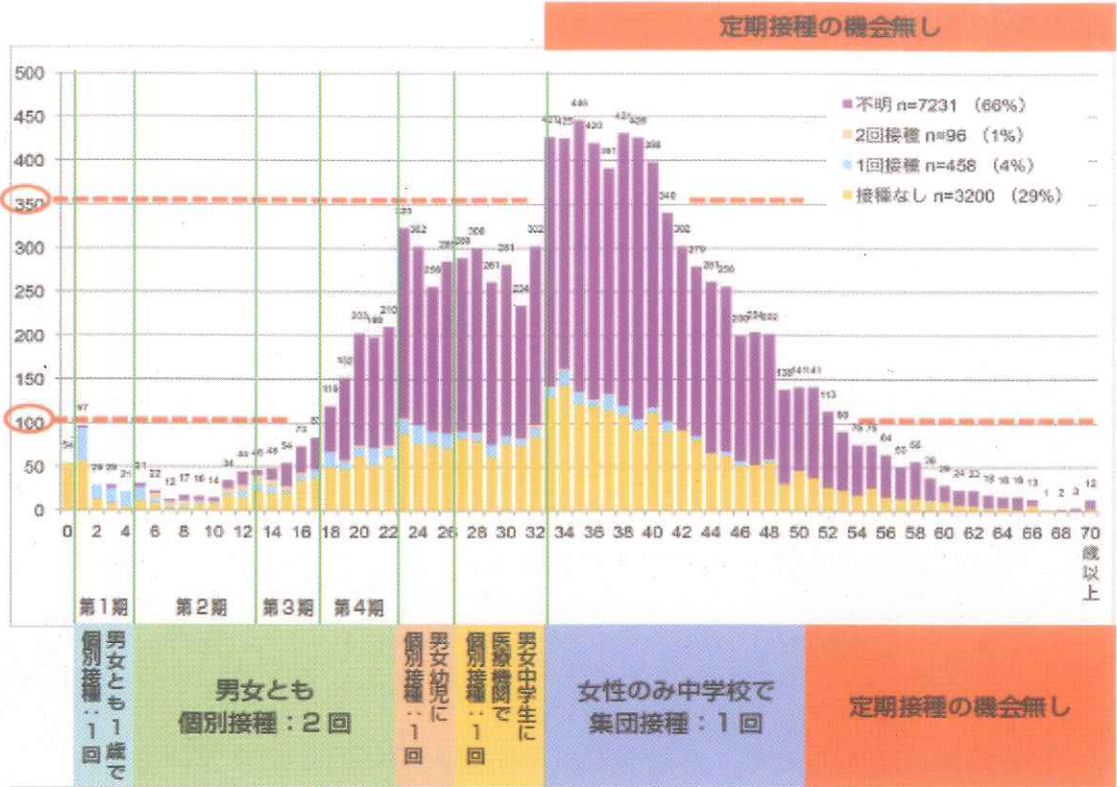
○風しん患者累積報告数（国立感染症研究所作成「職場における風しんガイドライン」抜粋）

平成 25 年風しん患者報告数

感染症発生動向調査：平成 26 年 1 月 7 日現在

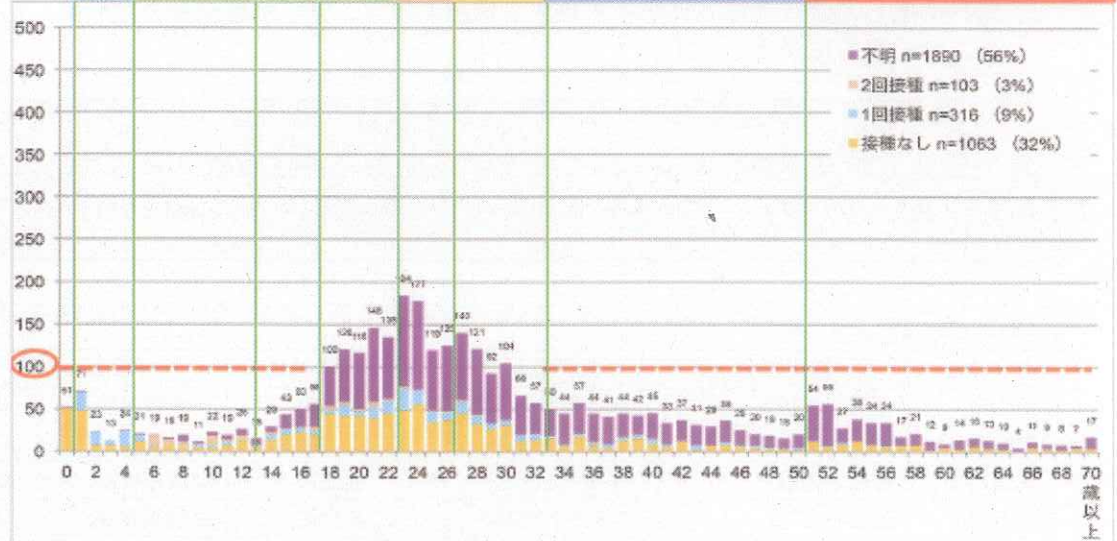
報告数

男性  
(n=10,985)



報告数

女性  
(n=3,372)



※平成 25 年の風しん患者報告数は、男性が女性の約 3 倍であり、男性は 20 代～40 代に多く、女性は 20 代に多く見られました。

また、ワクチン 1 回接種した方の感染が、男性で 4%、女性で 9%ありました。